

羽後「こまち野」 羽後中受験生に 合格祈願イチゴ



羽後町三輪地区でイチゴ栽培を手がける「こまち野」（小野雅敏社長）は6日、高校受験を前にした羽後中学校の3年生125人に、合格を祈願したイチゴを1人1パックずつ贈った。

同町字南野の栽培ハウスで贈呈式が開かれ、代表生徒7人が参加した。合格祈願の神事後、こまち野グループ会社小野建設（同町）の小野人平社長（42）が「ビタミンが豊富なイチゴを食べて、受験を乗り切ってほしい。輝かしい高校生活が送れることを願っている」と激励。1人200個のパック詰めされたイチゴを生徒に手渡した。

イチゴは生徒たちが「イチ」番に「ゴウ」格できるよう応援の気持ちを込め、2014年から毎年贈っている。藤原心愛さんは「地域の方々に支えられていると実感した。応援してもらっているということを心に留め、試験に臨みたい」と話した。（館岡朋美）

（令和7年2月9日（日）秋田魁新聞より一部抜粋）